

企画総務委員会・地域文教委員会・保健福祉委員会
連合審査会

令和4年10月25日

1 (仮称)千代田区第4次基本構想について

【資料】

2 その他

◆10/17連合審査会での主なご意見(要旨)

基本構想たたき台 (該当箇所)	連合審査会でのご意見	懇談会での主なご意見
はじめに	『「教育と文化のまち千代田区宣言」や「国際平和都市千代田区宣言」などを踏まえ』と記載があるが、基本構想にどのように活かしていくのか。	千代田区の理念は、「教育と文化のまち千代田区宣言」と「国際平和都市千代田区宣言」を基本に千代田区の自治を検討すれば良いのではないかと。 物理的にも身体的にも平和を保てるような内容にしてほしい。
はじめに	人口は増えているが、これまで住んでいた世帯は千代田区に残っていないのではないかと。また、コミュニティが減少しているのではないかと。住み続けられるまちであり、住み続けられなかった人を呼び戻すまちにしないといけないのではないかと。	地域のつながりや人間味があることを守りながら、発展して行ってほしい。 学生や新社会人と交流など世代間交流ができる場所があると良い。 昼間人口と夜間人口の人口差が大きいので、そのつながりがあると良い。 安全安心に生活できるなど、長期的に住み続けられるという持続可能性についても触れた方が良いのではないかと。
目指すべき将来像	普遍的なもので、千代田区らしさが無い。具体的にすべきではないかと。	説明文がなければ「千代田区」だと分からない。 写真や絵で千代田区らしさを表現すると良いのではないかと。町会の様子を写真で紹介すると、「こうしたら地域を活性化できる」というイメージにつながるのではないかと。
分野別将来像	<ul style="list-style-type: none"> 分野別将来像の下段に書かれた「○」から始まる箇条書きの文書に沿って具体的な取組みが行われるのか。 例えば子育て施策などは、所管を跨る課題があるが、どのように分かりやすく示す予定か。 	分野別の将来像の3つの区分が分かりにくい。重なり合っている部分も多いように感じる。

基本構想たたき台 (該当箇所)	連合審査会でのご意見	懇談会での主なご意見
分野別将来像	「集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち」で、「地域特性を活かした」とあるが、閑静な住宅街というのはどこにあるのか。「閑静な」という言葉を入れてはどうか。	「やすらぎ」にはいろいろな意味が含まれているようだが、例えば「自然環境」のように、もっとストレートに伝わるような表現にしてはどうか。
分野別将来像	子どもに関する将来像で、全ての子どもに尊厳や権利があることなど具体的なことが書かれていない。	「平等」という言葉が大事なポイントになる。一人ひとりの子どもに合った個性や意思を尊重できる機会を与えられることが必要である。
分野別将来像	少数派・マイノリティに寄り添った表現とし、孤立しないような丁寧な記述をしていただきたい。	<p>「こどもからお年寄りまで」という表現があるが、年齢だけでなく、人種や性別などの観点からも多様性を表現できると良い。</p> <p>「子どもからお年寄り」という表現は限定的で多様性を感じない。ダイバーシティードインクルージョンの考え方に沿い、多様な存在を認めるというニュアンスを追加できると良い。</p> <p>マイノリティの立場にない人にとっては、「取り残される」という意味が伝わりにくく、「めざすべき姿」がイメージしにくいと思う。構想の中で、取り残されている人たちを明示することで、取り残されているマイノリティが社会にいることを気付かせることが大事だと思う。最終的に平等な社会を目指すためには、まずはマイノリティの「特別扱い」をするような段階を踏む必要があると思う。</p> <p>同じ社会にいる全員に平等な機会を公正に提供するには、それぞれの立場に応じた配慮が必要である。</p>

次ページへ続く

基本構想たたき台 (該当箇所)	連合審査会でのご意見	懇談会での主なご意見
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">(つづき)</div>	<p>孤独を感じている人はおり、そのような人たちにとっては、「誰一人取り残されることがなく」という表現は、響きSDGsから引用された言葉なのではないか。「誰一人取り残されることがなく」という言葉を、千代田区として噛み砕いて使用し、障がい者に対する意識が高まっていけば、ありがたい。</p> <p>「誰一人取り残されることがなく」においては、自分が取り残されているという自覚がある人、無い人どちらも内包すると捉えると良いのではないか。</p>
基本構想全体に関わる意見	これまで目標年次を定めていたが、今回設けない理由はないか。	<p>基本構想をどれくらいの期間使うのかが気がかりである。今後長期的に使うものとして、一つ一つの言葉遣いを慎重に検討する必要がある。</p> <p>基本構想に期限はあった方がよく、その期限によって記載内容もかわってくるのではないか。</p> <p>次の基本構想は期間を設定していないため、文章中に時間的な有限・無限が混在している。</p> <p>第4次基本構想は無期限を前提に作っているが、中身は20年期限だった第3次基本構想とほぼ変わっていない。アンケートでは10年の後の姿について聞いており、今回の基本構想も10年を期限とするなど、対応が必要ではないか。</p> <p>恒久的な構想として考えるのであれば、時勢の変化に対応できるような内容にするべきである。</p> <p>短いスパンで振り返りの場を設けるのは良いと思う。</p>

基本構想たたき台 (該当箇所)	連合審査会でのご意見	懇談会での主なご意見
基本構想全体に関わる意見	監査の立場から、どこまで評価していくのかわからない。具体的な目標年次とは別に、人口推計を活用するなど、もう1つの指針があるとよい。	
基本構想全体に関わる意見	基本計画を策定しないのであれば、区民と共有できるように、分かりやすいものにしなければならないのではないかと。	構想の内容が抽象的で、何をしていくのかわからない。注視すべき内容、将来こうしたいという内容をはっきりさせた方がよい。
基本構想全体に関わる意見	千代田の特徴は企業が多いことである。基本構想はすべての人と共有するものなので、働く人の視点が少ないのではないかと。	分野別将来像に千代田区らしさを出すためには、ビジネスの要素を打ち出しても良いのではないかと。歴史と文化のあるまちは沢山ある一方で、ビジネスが集積しているのは千代田区が圧倒できる点である。「集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち」にビジネスの要素を追加しても良いと思う。
基本構想全体に関わる意見	子どもの生み控えは、環境や平和などを危惧しているためであり、全ての施策を子どもの視点から考えるべきではないかと。	「生み育つ」、「生まれ育つ」といった要素がこの構想では見受けられない。今後、千代田区として、転入で人口を増やしていくのか、それとも、千代田区で生まれる子どもを増やし、人口を増やしていくのか、区のスタンスを示した方が良いのではないかと。
基本構想全体に関わる意見	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田区らしさが無い。区のシンボルである白鳥や松、桜など丁寧に扱ってきたものに触れるなどすれば千代田区らしさが表現できるのではないかと。 ・将来何をやるか明確にしていきたい。 また、千代田区歌を想起させるようなものがあると千代田	説明文がなければ「千代田区」だとわからない。 千代田区は大企業が集積し、歴史もあるなど理想的な都市である。「日本を牽引していく」「日本のモデルケースをめざす」「NO1、模範的である」という思いを描いてはどうか。

基本構想たたき台 (該当箇所)	連合審査会でのご意見	懇談会での主なご意見
	<p>区らしさがでるのではないかな。</p> <p style="text-align: center;">次ページへ続く</p> <p style="text-align: center;">(つづき)</p>	<p>写真や絵で千代田区らしさを表現すると良いのではないかな。町会の様子を写真で紹介すると、「こうしたら地域を活性化できる」というイメージにつながるのではないかな。</p> <p>分野別将来像に千代田区らしさを出すためには、ビジネスの要素を打ち出しても良いのではないかな。歴史と文化のあるまちは沢山ある一方で、ビジネスが集積しているのは千代田区が圧倒できる点である。「集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち」にビジネスの要素を追加しても良いと思う。</p> <p>国際的な面も強いことや地域に大学が点在していることも特徴だと思う。大学との連携を構想に入れ込めれば千代田区らしさが出てくると思う。</p> <p>注視すべき内容、将来こうしたいという内容をはっきりさせた方がよい。</p>